

令和4年度森林環境譲与税の使途について

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	進捗状況	事業の目的・効果	
		(A)+(B)+(C)	(A)うち令和4年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）					(C)うち他の財源（千円）
その他（木材・普及啓発関係）	森林認証協議会負担金	240	240	0	0	森林認証の継続的な運用を図るため本市を含む上川管内の市町村、森林組合、企業等で構成される上川森林認証協議会に対する負担金	令和元年9月5日に上川森林認証協議会としてSGEC森林認証取得	今後も森林認証の普及を進めていく必要があるため、毎年、継続的に上川森林認証協議会に対して負担金を負担	上川森林認証協議会に対する負担金により、本市の市有林が適正な森林管理や環境保全への配慮に関する一定の基準に基づいた森林として認証され、森林整備に向けた体制強化につながった。
その他（森林整備）	森林管理システム推進事業	274	274	0	0	平成31年4月から施行された林地台帳制度に基づき、森林の所有者・境界を把握し、市有林の施業推進を図るため導入している林地台帳管理システムの保守業務委託	・森林整備業務委託の設計に活用 ・意向調査実施箇所の情報収集に活用 ・林地台帳の閲覧又は写しの交付に活用	毎年、継続的に林地台帳管理システムの保守業務委託を実施	林地台帳管理システムのデータの入替作業等の対応を行い、より精度の高い所有者・境界情報に整理することで、森林整備の促進につながった。
その他（森林整備）	森林管理システム推進事業	18	18	0	0	平成31年4月から施行された森林経営管理法に基づく、適切な経営管理が行われていない森林所有者への意向調査の回答において、市による経営管理を希望する所有者の森林をどのように調査していくべきか先進事例である他都市を視察	先進事例を視察 ・札幌市視察	森林所有者への意向調査を令和元年度から令和3年度の3か年にかけて実施し、市による経営管理を希望している所有者の森林を今後どのように調査していくべきか先進事例である他都市を視察	森林の多面的機能の発揮のためにも、民有林における適切な経営管理が必要であり、他都市の先進事例を視察することで、市による経営管理を希望している所有者の森林をどのように調査していくべきかの検討材料とした。
専門員の雇用	地域林政アドバイザー委託事業	3,850	3,850	0	0	森林・林業に関して知識や経験を有する地域林政アドバイザー配置の委託	地域林政アドバイザー：1名配置	毎年、継続的に地域林政アドバイザー配置の委託を実施	本市においては森林・林業の知識や経験豊富な市職員がいないため、地域林政アドバイザーを1名配置することにより市職員への助言、森林の巡視及び現地調査等における支援が得られ、森林整備に向けた体制強化につながった。
私有林整備	民有林等活性化推進事業	3,154	3,154	0	0	間伐、下刈り等の森林整備や北海道の補助事業で森林整備を行う団体に対して経費の一部を補助	間伐、下刈り等の森林整備への補助 ・間伐：2.12ha 北海道の補助事業における森林整備への補助 ・下刈り：139.85ha	私有林で行う間伐、下刈り等の森林整備に対して毎年、継続的に経費の一部の補助を実施	私有林で行う間伐、下刈り等に対して経費の一部を補助することで森林所有者56名分の民有林における適切な森林整備の促進につながった。
林道・林専道の整備等	民有林等活性化推進事業	3,396	3,396	0	0	森林組合が管理する林業専用道等の改良、修繕の経費の一部を補助	林業専用道等の改良、修繕への補助 ・路面整正延長7,330m ・砂利敷き234㎡ ・草刈延長74,060m	災害等で通行不能となった林業専用道等の復旧や軟弱地等の改良に対して毎年、継続的に経費の一部の補助を実施	林業専用道等の改良、修繕に対して経費の一部を補助することで森林所有者308名分の民有林における適切な森林整備の促進につながった。
担い手確保	人材育成・担い手確保推進事業	611	611	0	0	人材育成機関である道立北の森づくり専門学院の学生募集などのPR活動	学生募集などのPR ・街頭放送：3か月間放送 ・路線バス車内放送：4か所のバス停留所で放送	毎年、継続的に道立北の森づくり専門学院の学生募集などのPRを実施	道立北の森づくり専門学院の学生募集などのPRを行うことにより、定員40名のところ入学者34名の林業・木材産業における人材育成・担い手確保につながった。
林業就業者の育成	人材育成・担い手確保推進事業	21,722	21,722	0	0	林業機械を導入する林業事業者、林業従事者に対して経費の一部を補助	林業機械導入への補助 ・大型林業機械：3件 ・小型林業機械：1件	林業機械を導入する林業事業者や林業従事者に対して毎年、継続的に経費の一部の補助を実施	林業の担い手の確保・育成を支援するために4件の林業機械の導入に対して経費の一部を補助することで林業事業者等の体制強化を図り、効率的な森林整備の促進につながった。
森林・林業・木材普及活動等	木材利用・普及啓発推進事業	386	386	0	0	市民向けに森林・林業の現場や施設の見学を行う森林教室を開催	森林教室の開催：9回 ・第1回春の野草観察14名、第2回きのご栽培体験28名、第3回きのご栽培体験22名、第4回クラフト作り体験20名、第5回北森カレッジの見学2名、第6回製材所の見学4名、第7回森林散策9名、第8回植栽体験11名、第9回クリスマスツリー作り19名	毎年、継続的に市民向けに森林・林業の現場や施設の見学を実施	市民向けに森林・林業の現場や施設の見学による森林教室を開催することにより、参加者129名に対して森林・林業の普及啓発の推進を図った。
森林・林業・木材普及活動等	木材利用・普及啓発推進事業	242	242	0	0	小学生に森林内で生態系や自然環境について学習してもらうため、小学校と連携した森林体験授業を開催	小学校森林体験授業の開催：4回 ・第1回11名、第2回8名、第3回42名、第4回14名	毎年、継続的に小学校と連携した森林体験授業を実施	小学校と連携した森林体験授業を開催することにより、小学生75名に対して森林・林業の普及啓発の推進を図った。
その他（木材・普及啓発関係）	木材利用・普及啓発推進事業	186	186	0	0	森林・林業の普及啓発のため、毎年、「森林（もり）の市」実行委員会が開催している森林の市に出展	森林・林業の普及啓発PR ・森林の市への出展	森林・林業の普及啓発のため、毎年、継続的に森林の市に出展	森林の市において北の森漫画や旭川市森林絵巻のパネル展示、アクセサリ作り体験、木質バイオマス普及促進PRなどのブースを出展することで、森林・林業の普及啓発の推進につながった。
その他（木材・普及啓発関係）	木材利用・普及啓発推進事業	270	270	0	0	木育や林業・木材産業等への就職、進学への関心の向上につなげるため、漫画で林業について紹介した普及啓発教材の作成	普及啓発教材の作成 ・ポスター10部 ・リーフレット1,300部 ・クリアファイル1,300部	木育や林業・木材産業への就職、進学への関心の向上につなげるため、毎年、継続的に普及啓発教材を作成	普及啓発教材を作成することで、森林・林業の普及啓発の促進につながった。
木造公共建築物の整備等	木材利用・普及啓発推進事業	3,058	939	0	2,119	建設中の新庁舎内に導入する旭川家具のうち、市民が利用する家具の一部を市産材で製作するため、市有林内で広葉樹を伐採	市有林内での広葉樹伐採 ・ミズナラ43本 ・ヤチダモ27本	伐採した広葉樹材で旭川家具を製作し令和5年11月に完成予定の新庁舎内に設置	新庁舎で、市民が利用する旭川家具の一部を市産材で製作することで、木材利用の促進及び森林・林業の普及啓発の促進につながる。
木造公共建築物の整備等	木材利用・普及啓発推進事業	16,557	16,557	0	0	建設中の新庁舎内に導入する旭川家具のうち、市民が利用する家具の一部を市産材、道産材で製作	新庁舎の2階待合で使用するベンチや議会第一応接室で使用するテーブル、ソファなどの旭川家具製作	伐採した広葉樹材で旭川家具を製作し令和5年11月に完成予定の新庁舎内に設置	新庁舎で、市民が利用する旭川家具の一部を市産材で製作することで、木材利用の促進及び森林・林業の普及啓発の促進につながる。

令和4年度森林環境譲与税の使途について

事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	進捗状況	事業の目的・効果
		(A)+(B)+(C)	(A)うち令和4年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）	(C)うち他の財源（千円）				
その他（木材・普及啓発関係）	旭川市営農改善推進協議会負担金	320	320	0	0	旭川市内の関係機関・団体で構成され農林業の振興に係る事業を行う。旭川市営農改善推進協議会に対する負担金	森林・林業の普及啓発PR ・「北の恵み 食べマルシェへの出展」	令和3年6月16日に旭川市営農改善推進協議会の中に森づくり専門部会を新設 今後も森林整備・人材育成・担い手確保・木材利用・普及啓発の推進を図るため負担金を負担	「北の恵み 食べマルシェ」においてチェンソーデモや木のアクセサリー作り体験、北森カレッジのPRなどのブースを出展することで、森林・林業の普及啓発の推進につながった。
その他（木材・普及啓発関係）	民有林等活性化推進事業	195	195	0	0	間伐材や未利用木材などの利活用推進を目的とし、市民等を対象とする講習会等の開催を行う団体に対して経費の一部を補助	講習会等の開催への補助 ・森の工作1回	間伐材や未利用木材などの利活用推進を目的とし、市民等を対象とする講習会等の開催を行う団体に対して経費の一部を補助	講習会等の開催に対して経費の一部を補助することで森林・林業の普及啓発の推進につながった。
林道・林専道の整備等	林道整備事業	9,361	9,361	0	0	平成30年7月の大雨により、路面及び路肩が崩壊した林道富大線の改修工事	林道富大線の改修	路面及び路肩が崩壊した林道富大線を令和4年度から2か年で改修	路面及び路肩が崩壊して通行上危険を伴っていた林道富大線を改修することで、森林整備の促進につながった。
木質バイオマス利用推進	地域木質バイオマス利活用促進事業	4,581	2,000	0	2,581	薪ストーブを導入する市民や事業者に対して経費の一部を補助	薪ストーブ導入への補助 ・補助件数：24件 （うち森林環境譲与税対象件数：10件）	薪ストーブを導入する市民や事業者に対して経費の一部の補助を実施	24件のうち10件分の薪ストーブ導入に対して経費の一部を補助することで地元産木質バイオマスの利活用の促進につながった。
その他（木材・普及啓発関係）	地球温暖化対策推進事業	3,960	3,477	0	483	市民に対する地球温暖化対策普及啓発の一環として、森林の大切さや地球温暖化対策への関心を高めることを目的に、市内中心部に記念植樹を実施	エゾヤマザクラ100本記念植樹	森林の大切さや地球温暖化対策への関心を高めることを目的に、市内中心部に記念植樹を実施	記念植樹を実施することで、森林・林業の普及啓発の推進につながった。
その他（木材・普及啓発関係）	うぶごえへの贈りもの事業	9,676	6,360	0	3,316	小さいころから地場産品に親しんでもらうことを目的として、出生児に道内産カバ材で製作した木製の皿とスプーンを贈呈	木製の皿とスプーン贈呈1,511件	毎年、継続的に出生児に道内産カバ材で製作した木製の皿とスプーンを贈呈	1,511人の出生児に内産カバ材で製作した木製の皿とスプーンを贈呈することで、木材利用の促進及び森林・林業の普及啓発の推進につながった。
基金積立（森林整備等）	旭川市森林整備基金積立	1,570	1,567	0	3	森林経営管理法に基づく意向調査後の民有林の調査のほか、間伐及び路網の維持修繕等の森林整備に備え、積み立てた	①森林環境譲与税の残額：1,567千円 ②基金の利子：3千円	今後も森林環境譲与税を活用して森林整備及びその促進に関する事業に必要な経費の財源に充てるため、基金に積立	森林環境譲与税を基金に積み立てることで、次年度以降に実施する森林の整備及びその促進に関する事業に備えた。
基金積立（人材育成等）	旭川市森林整備基金積立	1,406	1,404	0	2	林業機械の導入支援、道立北の森づくり専門学院の支援等、人材育成に関する事業に備え、積み立てた	①森林環境譲与税の残額：1,404千円 ②基金の利子：2千円	今後も森林環境譲与税を活用して森林整備及びその促進に関する事業に必要な経費の財源に充てるため、基金に積立	森林環境譲与税を基金に積み立てることで、次年度以降に実施する森林の整備及びその促進に関する事業に備えた。
基金積立（木材利用等）	旭川市森林整備基金積立	5,519	5,509	0	10	森林教室開催、薪ストーブ導入補助等、木材利用・普及啓発に関する事業に備え、積み立てた	①森林環境譲与税の残額：5,509千円 ②基金の利子：10千円	今後も森林環境譲与税を活用して森林整備及びその促進に関する事業に必要な経費の財源に充てるため、基金に積立	森林環境譲与税を基金に積み立てることで、次年度以降に実施する森林の整備及びその促進に関する事業に備えた。
	計	90,552	82,038	0	8,514				